

05

HIGASHI COMPASS

junior high school

2025年  
5月30日

## 伝 統

校長 林 武宏

1年生の清里合宿と3年生の長崎修学学習が5月の初め、連休明けに実施されました。行事の前にはいつも天気が気になります。昨年度もそうでしたが、特にこの連休明けは、近年、低気圧の発達から雨となることが多いのでなおさらでした。5月の気候はなかなか難しいところがあります。もともとは梅雨の合間の晴れ間を指す「五月晴れ」という言葉が、今では5月のさわやかに晴れ渡った空を表すようになったとおり、大変気持ちのよい天気が多くある月ですが、一方で立夏という言葉のとおり夏の到来を感じさせる暑さがあったり、南から流れ込む暖かい空気と北から南下する寒気により寒暖差が大きくなって悪天候となったり。ひどいときには、低気圧が台風並みに急速に発達しながら日本海を東に進み、各地に暴風や大雨をもたらすこともあり、これは「メイストーム」と呼ばれます。May Storm、五月の嵐という意味の言葉ですが、実は和製英語で、頻度が低いからこそ生まれた言葉でした。そのメイストームという言葉が今年も連休中の天気予報から使われ、特に九州地方での荒天を予想したのです。私は清里合宿の1年生に随行しましたが、幸い清里は初日の午前が曇天で肌寒かったものの、あとは天候に恵まれ、高原特有の涼しさの中、行程を消化できていました。そして、3年生の修学学習の引率職員と連絡をとりながら、特に九州の天気の状態を確認しておりました。荒天が予想された3日目は、午前午後にかけて『ハウステンボス』でのA~E混合の班別行動を予定していましたが、3日目の朝、「体感の雨風はそれほどでもなく、予定どおりハウステンボスでの行程を実施できる」との連絡を受けたときには、ほっと安心したものです。しかし残念ながら、昼前に雨が強まり、午後の行程は室内の水族館見学に切り替えることとなりました。聞けば、着ている洋服も、履いている靴もずぶぬれになるほどの雨の強まりだったとのこと。雨風による行程変更は、生徒の安全上やむを得ないこととはいえ、生徒にとっては非常に残念なことだったにちがいないと思いましたが、修学学習終了後に一番楽しかった思い出を聞いた時に「ハウステンボス!」と答える生徒が多いと3年生担任から聞き、あらためて生徒の強さ、バイタリティを感じた次第です。

さて、今年も終戦から80年、長崎では被爆から80年の節目の年です。その節目の年に、本校生徒が修学学習として長崎の地を訪れることには大変な意味があると考えています。2001年から開始した『生命科』では、3年生で「平和」という単元を設定し、戦争についてずっと学び続けてきました。原爆投下の意味について、時にはディスカッションのみならず、ディベート形式で考えを深めることもあります。かつて、グアムに修学学習で訪れていたときにも、グアム太平洋戦争博物館を行程に置いてあったのです。今年の修学学習実施にあたり、長崎に投下された原爆、そして戦争についてより深く学ぶために、事前に『ナガサキ 核戦争後人生』の翻訳・出版をなさった方を講師としてお招きし、3年生に講演いただきました。その方がおっしゃっていたのは、「まず知ること。そして、平和をあきらめないでほしい」ということでした。身の回りの平和の積み重ねの先に、世界の平和がある、そのメッセージは3年生の心に刻まれたと思います。そうした事前学習を経ることで、「修学学習」としての長崎学習の経験が各自にとって、今後につながるものになることを願います。

清里合宿は、本校の第1期生が、開校反対運動により校舎の建設が間に合わなかったため、青梅の山荘で月曜日から金曜日まで寝食を共にしながらの学校生活を送り、週末に自宅に戻るという生活を1学期の間ずっと続けたことを、2期生以降も伝統的に引き継いだ行事です。そして、実は、第1期生の修学学習の行き先は九州でした。2期生からはグアム学習となりましたが、1期生は長崎を訪れ、平和祈念公園で、41期生と同じように、平和について考えています。清里と長崎、この5月の校外学習を振り返りながら、「伝統」ということを思う機会でした。

# 41期 友愛会 発足会

41期友愛会発足会が開催され、友愛会会長、各専門委員長、SDGsプロジェクトから、今年度自分たちが実行したい具体的な活動方針が述べられました。生徒が主体となって、新たな発想でより良い学校生活をつくり上げていくことを目指します。以下は、今年の抱負です。



友愛会会長 3年 穀野さん

今年の友愛会目標は、「効率徹底」です。この目標には、昨年目標であった全員参加を前提とした上で、友愛会活動を効率化し積極的に活動を行っていくことの2つの目標が含まれています。つまり全員が参加可能で一人ひとりが効率性を重視して、無駄に止まることがない友愛会にしていきたいと思っています。そしてみんなで友愛会・学校生活を盛り上げていきます。

学校生活推進委員会 3年 中川さん  
昨年度、図書グループでは新しい企画そして美化グループは新しいアイデアなどが出てもそれを実行できなかったことが多かったので、今年は新しいアイデアや企画が出たらすぐに実行にうつしたいです。また昨年に続き清掃活動と本の整理をやっていきます。

アクティベーション委員会 3年 福山さん  
「縦と横のつながりを深めるために」様々な企画に挑戦します。生徒全員が学年関係なく関われる企画をする縦割りグループ、AB組とCDE組がより仲良くなれる企画をする横割りグループと、放送や掲示物を使った校内情報の発信グループに分かれて活動します。

スポーツ推進委員会 3年 岩永さん  
今年のスポーツ推進委員会では、「学年の垣根を超え、協力し、全力で楽しめる委員会」という委員会内部でのスローガンのもと少しでもみんながスポーツを好きに、そして、楽しくなれるように行事以外でも企画を考え盛り上げて行きます。

PR委員会 3年 佐東さん  
今年度はSNSのツールを通じた外部への発信において部門を設定すると共に、具体的な数値目標を設定し、より主体的に取り組んでいきます。「効率徹底」のため、「情報の整理」と「明確な目標設定」を軸に活動を進めていきます。

学園祭実行委員会 3年 高橋さん  
主に「模擬店」「企画」「装飾」「Show Timeと広報」の4部門に分かれて活動します。各部門が他の委員会と連携し、東中の魅力・特色を来校者に伝えていきます。委員全員が主体的に取り組み、効率的に役割を果たしながら最高の学園祭を創り上げていきます！

文化推進委員会 3年 齋藤さん  
読書部門、文化発信部門の2部門に分かれて活動します。読書部門では本の紹介、ブックトーク・朝読書の推進を。文化発信部門では、日本・海外文化の紹介に加え、新たな企画もしていきます。行事準備には、委員会全体で取り組みます。放送や新聞を媒体に、沢山の学びを届けていきます。

SDGsプロジェクト 3年 堤さん

今年は、学園祭でイベントを企画し、SDGsの啓発となる機会を作る予定です。また、昼に放送を行うなど、日常的にSDGsに触れる機会を増やしていきます。今年度は外部のコンテストには応募せず、実際に行動へ移すことを目標にしていきます。

# 1年 清里山荘合宿

5月7日（水）～9日（金）の日程で、清里山荘合宿に行ってきました。天候にも恵まれ、元気に集合してくる生徒たちの様子からは、この合宿を楽しみにしていることが伝わってきます。清里に到着し、昼食後にまず行ったのは「班対抗のレクリエーション大会」です。活動班ごとにディスクゴルフを行い、A B組とC D E組の生徒同士がコミュニケーションをとることで、互いの距離を縮めていくことができていました。

宿舎に戻った後、A B組は校長講話の時間があります。自主自律の精神や「中学生の本分」について、興味の幅を狭めないこと、などのお話があり、生徒たちは改めて武蔵野東中学校で学ぶことや合宿の意義を理解していました。夕食後は、A B組はプラン立て研修会と自主学习。C D E組は、荷物整理をしっかりと行いました。使用した服と未使用の服を分けておくことや、自分のものと他の人のものが混ざらないように意識しておくことなど、生活スキルについて細かく確認をしています。

2日目、A B組はオリエンテーリング、C D E組はハイキングの行程を予定通り行うことが出来ました。美し森展望台からの景色もすばらしく、その後も清泉寮、清里の森などのコースを散策しました。昼食時には楽しみにしていた清泉寮のソフトクリームを味わいました。

最終日、布団やカバーの片付けなど、帰り支度を手際よく終え、山梨県立考古学博物館へ。巨大な前方後円墳や実際に中に入ることができる竪穴住居、埴輪などの出土品などの見学をしています。甲斐風土記の丘へ場所を移し、昼食をとったあとは、火起こし体験です。どの班も早々にコツをつかみ、生徒同士が協力して、多くの班で火起こしに成功しました。

合宿では、共同生活を通して自主学习や生活自立の基礎を学びました。ここでの学びを学校生活でも継続し、より自立した中学生となっていくことを期待します。



1日目  
レクリエーション



2日目  
オリエンテーリング



食事の準備



学習会



2日目  
昼食後のソフトクリーム



3日目  
火起こし体験



## 3年 長崎修学学習

今年度、初めての修学学習の場として長崎県を訪問しました。歴史的、文化的背景が豊かで、平和や異文化理解を学ぶ意義が大きい土地である長崎での4日間は新鮮で生徒たちに深い学びをもたらしました。

初日は羽田空港に集合です。早めに到着する生徒が多く、この旅への期待感が感じられました。定刻で羽田を出発し、長崎空港からバスで外海地区へ移動。潜伏キリシタンの歴史やド・ロ神父の足跡に触れました。静かで綺麗な海と豊かな緑に囲まれながらガイドさんの説明に耳を傾け、歴史ある展示物に見入りました。繰り返す狭い階段や坂道で長崎ならではの地形も感じるスタートとなりました。

2日目、午前中は原爆資料館、平和公園・爆心地を訪れました。ここでは多くの国の外国人観光客の姿があり、平和への思いが国を超えて広がっていることを実感する生徒も多かったように感じます。原爆によって多くの命が失われた事実や、その後の復興は現在にも繋がっていることを知ることで、平和の大切さを強く感じました。午後はAB組が班別行動、CDE組は団体行動で市内の観光に出かけました。グラバー園や出島、周辺の歴史的な街並みをめぐり、古くから中国や西洋文化と深く関わってきた長崎独特の雰囲気を感じ取る時間となりました。

3日目は終日ハウステンボスを楽しむ予定でしたが、荒天のため予定を変更し午後はペンギン水族館を訪れました。思いがけない訪問となりましたが、生徒たちは明るく捉え楽しんでくれました。そして最終日はバスで福岡へ移動。快晴の空の下、本殿に向かう3つの太鼓橋をガイドさんから教わった通り「転ばないよう」「立ち止まらないよう」慎重に歩を進め太宰府天満宮を参拝。受験を控える3年生ということもあり、締めくりにふさわしい静かな時間を過ごし、無事帰京しました。

宿泊した稲佐山観光ホテルの屋上からは「世界三大夜景」と称される1000万ドルの夜景を見学することができます。また部屋からの夜景も美しく、聞こえてくる客船の汽笛も港町ならではの趣を感じるものでした。ホテルの食事は「卓袱料理」をもとにしたスタイルで、和・中・洋が融合した独特の食文化に触れる体験となりました。はじめは大きな皿とその量にも驚きながら、班の皆で円卓を囲み食事を楽しみました。夜景も見える大きなお風呂でともに汗を流し、部屋ではカードゲームをしたりTVを見たり、普段の学校活では味わうことのできない3泊4日の時間は学年の絆をより深くしています。

以下、生徒の感想を抜粋して紹介します。

「実際に生きていた人が、今はもの言わなくとも無言で語りかけてくるような、不思議な感覚をもった。これまで遠いと思っていた戦争の惨状を知る有意義な時間となった。長崎を訪れ生命科で学んできた平和学習を実際に自分の肌で感じる事ができた。」

「今回の長崎修学学習は今までで一番CDEの友だちと深く関われたと思います。部屋でともに過ごすことでより深く知り合うことができ、これからの生活の中でもより多くのコミュニケーションをとっていきそうです。」

「長崎はこれまでの歴史でとても重要な都市だったことに改めて気づきました。私は平和について考える時に資料館で見たあの人々（原爆直後の生々しい姿は恐ろしさを伝えているようでした。）を思い出すようにしたいです。」

羽田空港での出発・到着時には多くの保護者の皆様に見送り・お迎えを頂きました。温かいご協力に心より感謝申し上げます。





## 交通安全教室

5月23日、AB組を対象に交通安全教室を行いました。はじめに、自転車に乗る際の基本的なルールについて確認し、正しい乗り方やマナーを改めて学びました。続いて、啓発用のDVDを視聴し、万が一加害者になってしまった場合にどうなるかを、実際の事故や裁判の事例をもとに考える時間を持ちました。子どもたちには、今回の学びを普段の生活や下校時の態度にも生かせるようお話ししました。ご家庭でも、自転車の乗り方や交通ルールについて、改めてお話いただければと思います。



### 5月の部活動試合結果と6月の大会予定

#### 陸上競技部

##### ●第75回 はちおうじT&Fトライアル

(5/3.4 上柚木陸上競技場)

3年	越智さん	円盤投	25m07	2位入賞
3年	島田さん	走幅跳	5m94	4位入賞
3年	高橋さん	走幅跳	4m35	6位入賞
2年	山本さん	円盤投	21m79	7位入賞
1年	清水さん	100m	15.31	8位入賞

##### ●東京都公認 第3回 東京女子体育大学競技会

(5/18 東京女子体育大学グラウンド)

3年	越智さん	円盤投	27m24
3年	島田さん	走幅跳	5m97
		100m	11.66
2年	長谷川さん	走幅跳	4m82

##### ●第76回東京都多摩東部陸上競技大会1.2日目

兼 東京都大会予選 (5/24.25 上柚木陸上競技場)

2年	長谷川さん	走幅跳	4m63	優勝
		100m	13.69	5位入賞
3年	島田さん	走幅跳	5m98	3位入賞
3年	越智さん	砲丸投	7m95	5位入賞
3年	高橋さん	走幅跳	4m31	8位入賞

※入賞した4名は東京都大会出場決定

#### サッカー部

##### ●中体連10支部夏季大会 (5/18.24.25)

グループリーグ3戦 3勝

